



厚生労働省

沖縄労働局
Okinawa Labour Bureau

平成27年11月11日

【照会先】

労働基準部健康安全課

課長 幸地光彦

労働衛生専門官 梅澤 栄

電話:098 (868) 4402



ノロウイルスによる

感染防止対策をとっていますか?

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の患者発生は、例年、12月中旬頃にピークとなる傾向があります(リンク1)。

また、国立感染症研究所によると、今シーズンはG I I. 17が主流の見通しとなっており、当該ウイルスは迅速診断検査キットによる検出感度が低いことから、対策の遅れにつながる恐れがあるとされています(リンク2)。

事業場において、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が発生した場合には、感染した人の糞便・吐物から他の人への二次感染が心配されます。

ノロウイルスに関する基礎知識や感染予防等についてまとめた「ノロウイルスに関するQ&A」や「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い」を参考に、糞便・吐物の適切な処理、手洗い等の衛生管理について、改めて、各事業者・労働者の皆様方にご確認と適正な対処をお願いします(リンク3および動画)。

- 「ノロウイルス検出状況」(リンク1)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

- 「ノロウイルスに関する G I I.17 型の流行とその特徴について」(リンク2)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/1023-diseasebased/na/norovirus/idsc/iasr-in/5695-kj4233.html>

- 「ノロウイルスに関するQ&A」(リンク3)

(厚生労働省ホームページ)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い」(動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM>

